

静岡市立南藁科小学校 古代体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和3年6月22日（火）

縄文時代～弥生時代の暮らしを体験を通して感じました。

この日は、静岡新聞社とケーブルテレビの2社が体験活動取材に来ていました。古墳時代までの学習が終わったばかりだということで、授業で扱った教材を実際に見たり触れたりすることで当時の人々の知恵や苦労を感じることができました。少人数だったこともあり、短い時間の中でもたくさんの体験ができました。



◎石器の試し切り体験

本物の打製石器や磨製石器に興味津々。持って、触って、大感激。黒曜石がとれる場所を聞いて感心しきり。持参した野菜くずを黒曜石で試し切りしました。堅い物もよく切れることに驚いていました。



◎土器の分類体験

ジュラルミンケースから出た完成土器を見て驚き、縄文・弥生・古墳時代の土器の説明を聞き興味を持って土器の分類をしました。実際に手に取り、重さや質感、模様などをよく観察し、微妙な土器の特徴を捉えながら分類していました。



◎火起こし体験

最初のデモンストレーションでは、簡単に火が起こせたのを見て、自分たちも簡単にできるだろうと思っていましたが、自分たちが弾み車を回す段階になると、なかなかリズムよく回すことができず、肩に力が入りすぎたり、弾み車が傾いたりして、うまく回すことができませんでした。しばらく頑張っていると火種ができ、火種を火口にのせ、しばらく息を吹きかけると火が起きました。とてもうれしそうでした。

